

【学校教育目標】
進んで学習しよう
自他を大切にしよう
責任を果たそう



西中だより

令和7年11月14日発行
青梅市立西中学校
学校だより第7号
校長 田中 晓

見方を変えると

校長 田中 晓

「頑固な性格」見方を変えると「芯が通っている」

先日、道徳の授業で子供たちから聞かれた言葉です。この授業の目標は、自己の良さを知り、個性を伸ばしていくことでした。生徒自身は、短所と考えていた「頑固な性格」に対して、周囲の友達から長所として「芯が通っている」との見方を教わることで、生徒が肯定的に考えることができるようになっていました。

中学生という様々な葛藤を抱える時期では、得てして、自分を否定的に捉えがちになり、大人との関わりについても反抗的になることもあります。また、この時期は、自分を客観的に見つめて考えるようになります。友達と比較し、どうすればより良い自分になれるのか、自分はどのような存在であるのかを考える過程で、知的な思考が促されています。ご家庭のお子様の様子で思い当たる方もいらっしゃるのではないでしょうか。

道徳の授業では、教材を通して、他者の思いや考えを想像し、自分自身が納得できる答えを探していきます。友達の異なる考えを知ることで、これまでの自分の考えが広がり、深まり、多面的な思考を身に付け、道徳的実践力につなげていくようにしています。

私たち大人も経験や環境により考え方方が異なります。私自身努めて多面的な思考から物事を考えるよう意識していますが、なかなか難しいものです。そんな時は、誰かと話し合うことで「もっと良い方法は・・。もし相手の立場だったら・・。何か事情が・・。」等考えを広げることができます。

子供も大人も見方を変えて、より広い視野で豊かな人生につなげられるようにこれからも道徳教育を進めていきます。

最後に、先日の道徳授業地区公開講座には、多数の方に御来校いただきありがとうございました。道徳教育は、学校・家庭・地域が一体となって行うことが重要です。子供たちの道徳心を高めていくために、引き続きのご協力をどうぞよろしくお願ひいたします。

第一学年校外学習（地域調査）を終えて

教諭 ○○○○

10月10日（金）、第一学年は「一致団結～君たちも青梅博士にならないか？～」をスローガンに、青梅・奥多摩地域へ校外学習に出かけました。生徒たちはそれぞれの班でテーマを決め、自分たちの興味や関心をもとに学習コースを設定しました。秋晴れのもと、歴史や自然、観光など、青梅の魅力を多面的に調べる姿は、とても意欲的でした。



当日は、青梅・奥多摩ビジターセンターや青梅市観光協会の方々にインタビューを行い、直接お話を伺うことで、資料だけでは得られない貴重な学びを得ることができました。初めは緊張していた生徒も、次第に自分の言葉で質問を重ね、真剣にメモを取る姿が印象的でした。

現在は、各班で調べた内容をもとに発表の準備を進めています。どの班も「青梅博士」として胸を張って発表できるよう、スライド作りに力を入れています。また、今回訪れた場所の中から「青梅のイチ押スポット」を紹介するポスター作りも、一人ひとりが進めています。今回の校外学習を通して、生徒たちは学ぶ楽しさと協力する大切さ、そして青梅の魅力を改めて感じることができました。これからもこの学びにも、今回の経験をいかしてくれることを期待しています。



現在は、各班で調べた内容をもとに発表の準備を進めています。どの班も「青梅博士」として胸を張って発表できるよう、スライド作り



合唱コンクールを終えて

教諭 ○○○○

10月25日（土）に、令和7年度合唱コンクールを開催しました。生徒一人ひとりが真剣に歌と向き合い、今年度のスローガン「天歌夢奏～絆を奏で感動を未来へ～」の通り、どのクラスも心を一つにして、会場いっぱいに美しい歌声が響きました。

練習では思うように声が揃わなかつたり、意見がぶつかつたりすることもありましたが、実行委員を中心互いに励まし合いながら少しずつ成長していく姿が印象的でした。本番では、これまでの努力が一つにまとまり、どのクラスも堂々と自信に満ちた歌声が響き、心に余韻を残してくれました。生徒からは、「クラス全員で協力して一つの音楽を作り上げる楽しさを実感できた」「本番では練習以上の力が出て、とても感動した」などの声が聞かれ、仲間とともに努力することの大切さを改めて感じた様子でした。

今回の経験を通して培った協調性や達成感を、今後の学校生活にも生かしていくよう、私たち教職員も一層熱意をもって教育活動に取り組んでまいります。最後になりましたが、保護者の皆様にはお忙しい中ご来場いただき、温かいご声援を賜りましたことに心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



合唱コンクール実行委員長の言葉

一年生の合唱は中学校生活初めての合唱コンクールとは思えない、フレッシュでさわやかな歌声であり、これから成長を予感させるものでした。二年生の皆さんは昨年の経験を生かし、より大きな歌声で最高なハーモニーを響かせてくれて、とてもすばらしいと思いました。そして三年生の皆さん、中学校生活最後の合唱コンクール、最高の歌声でした。最上級生としての重みとこのステージにかける情熱が伝わってきました。

全学年の皆さんにとって、この合唱コンクールが最高の思い出であってほしいと思います。また、このすばらしかった今年度の合唱コンクールが、来年も続いてくれることを祈ります。

3年A組 ○○○○

3年生金賞クラス実行委員の言葉

このクラスは団結力が強くて、最初から金賞をとるためにどうしたらよくなるなどの改善ができていました。やる気に満ちた姿は見ていて嬉しくて、本番が楽しみになるものでした。そしてハーモニーが良く感じられる私たちの一番を本番で歌えたと思っています。結果以上に、努力の過程やみんなで支え合った時間が大切だと感じました。これからもこの経験を忘れずどんなことにも取り組んでいきたいと思います。

3年A組 ○○○○

第2学年レスキュードッグ体験を終えて

主任養護教諭 ○○○○

10月30日(木)に、2年生を対象とした防災授業として、一般社団法人レスキュードッグ東京の方々に来ていただきました。

災害救助犬の役割や適性などのお話を聞き、日頃行っている訓練を目の前で見て学びました。代表生徒が飛び箱などに隠れて救助犬が探し当てるといった訓練も行い、とても盛り上りました。2年生は犬好きの生徒が多いようで、講義中も耐えられずどんどん犬に近づこうとしたり、時間が過ぎても救助犬と触れ合っている姿が見られました。災害時に活躍する人・犬の姿を見て、改めて自分たちにはいざというときに何ができるのかを考え、日々を生きていってほしいと思います。



道徳地区公開講座「ボランティアについて知ろう」を終えて

教諭 ○○○○

11月1日(土)、令和7年度道徳授業地区公開講座を実施しました。2時間目には各学級で「社会参画」や「公共の精神」をテーマとした道徳授業を行い、生徒一人ひとりが社会の一員としてどのように関わるべきかを考えました。

3時間目には、公益財団法人日本財団ボランティアセンターから小山敏明さんを講師にお迎えし、体育館で全体講演会を行いました。小山さんは自身のボランティア経験をもとに、無理なく自分の強みを生かすことの大切さや、多くの出会いが人生を明るくしてくれることなど、ボランティアに込めた熱い思いを語ってくださいました。

本校では、地域に根ざした取組として「西中ボランティアマスター制度」を設け、生徒が主体的にボランティア活動に参加できるよう力を入れています。今回の講演を通して、生徒たちは改めて社会に貢献することの意義を感じ、自分にできることを考えるきっかけとなりました。

当日は保護者の皆様にもご参観いただき、地域と学校が連携して道徳教育を推進する良い機会となりました。



第2学年救急救命講座を終えて

主任教諭 ○○○○

11月4日(火)、東京防災救急協会の方々をお迎えして、救急救命講習を行いました。今回は、心臓マッサージや人工呼吸の仕方、AEDの使い方、出血時の対応などを学びました。それぞれ動画を見たあと、実際に人形を使って体験しました。

今回は、人形が相手でしたので思い切ってできたかもしれません。ですが万が一、自分の目の前に要救助者が現れたとき、あなたは行動できるでしょうか？ 今回の経験を保護者とも共有しておいてほしいと思います。後悔だけはしないように。いざというとき行動に移せる人になって欲しいと思います。



部活動実績報告

吹奏楽部

下山八幡神社例大祭ステージ出演

11月18日（土）に行われた下山八幡神社例大祭において西中吹奏楽部が特別出演をさせていただきました。地域の方々や保護者の皆様、学校の友達と沢山の人々に見守られながら演奏をしました。曲決めの段階から、幅広い層に聴いてもらえる曲を吹奏楽部の生徒が主体的に探し、練習している様子から、沢山の人々の前で演奏をする楽しさや、皆からの期待を背負っているのだという自覚が見受けられるようでした。今年度も折り返し地点を過ぎ、どんどん成長していく部員の姿があります。今後とも西中吹奏楽部の演奏と成長とを楽しみにしていただければ幸いです。



その他

【ボランティアマスター】

地域や学校のために、梅もぎや多摩川清掃、自治会、学校行事などのボランティアに自主的に参加してくれています。回数を重ね、ボランティアカードを提出した生徒に、認定証を授与しました。

ボランティアマスター（5回以上参加者）10月22日現在

1年	○○○○	○○○○					
2年	○○○○	○○○○	○○○○	○○○○	○○○○	○○○○	○○○○

ボランティアゴールドマスター（10回以上参加者）10月22日現在

1年	○○○○				
2年	○○○○	○○○○	○○○○	○○○○	○○○○
3年	○○○○	○○○○			

11月の目標

- ・ 落ち着いて学習に取り組もう
- ・ 下校時間を守ろう



青梅市立西中学校

〒198-0063 青梅市梅郷 6-1460-1

【TEL】0428-76-0114 【FAX】0428-76-2394

平日 7:45～16:45まで

※上記以外留守番電話対応

【HP】<https://www.city.ome.tokyo.jp/school/nishi-j/>